

8/10(土) しんじ湖でシジミを研究しよう！ *子育て・青少年部

宍道湖に入って宍道湖やシジミについて学ぼうと8月10日、小学生13人、中学生ボランティア2人、大人スタッフ6人の合計21人が参加しました。

バスで日本シジミ研究所（松江市玉湯町）へ行き、中村幹雄所長（しまね環境アドバイザー）から宍道湖とシジミについての説明を聞いた後、宍道湖へ入ってシジミを採りました。独特なおいが少し気になる子どももいましたが、腰まで水につかって夢中でシジミを採っていました。

シャワーをして着替えた後、用意されたシジミ汁とおにぎりをいただきました。



8/19(月) 自衛消防訓練

8月19日、太平ビルサービスの立ち合いで自衛消防訓練を実施しました。1階調理室からの出火を想定し、消防署への通報、避難誘導、水消火器を使った消火訓練を行いました。

非常ベルの音を聞いて出火場所を確認した後、消火器を持って調理室へ向かい、初期消火を試みるも失敗したという想定で、119番通報。コミセン利用者の避難誘導と同時に、逃げ遅れた人がいないか確認し、職員も館外へ避難して全員の避難が完了しました。消火器を使用する時の注意点は、まず落ち着いて、火元近くまで寄ってから消火を始め、火元に近づきながら消火をすることですが、無理をせず避難することが最も重要です。

8/24(土) 通学路及び危険箇所の点検 *久木地区民生児童委員協議会 *久木地区青少年育成協議会

久木地区内の通学路や遊び場周辺に危険なところがないか、民生児童委員協議会と青少年育成協議会が合同で点検しました。

カーブミラーが破損している所や、用水路に柵がなくて転落しそうな所などがあり、子どもにとって危ないと思われる所が8箇所確認できました。

このことをふまえ、改善の要望書を市役所に提出します。



斐川交番の新しい久木地区担当者です

8月から斐川交番の久木地区担当として、伊達煌己巡査が配属されました。

初めての赴任地が斐川だそうですので、姿を見かけられたら声をかけてください。



香典返し寄付金

(令和6年7月1日～8月31日受付分)

須田定実様(須田明子様) 福富

岩宮 透様(岩宮正美様) 北島

原 一明様(原 常夫様) 弥生

兒玉 茂様(兒玉喜代子様) 福富

※() カッコ内は故人名です。

ご厚志ありがとうございました。
掲載者のお名前は、久木地区自治協会への寄付で、了承を得た方のみ掲載しています。

久木文化祭を開催します！

10月19日(土)・20日(日)の2日間、原鹿の旧豪農屋敷を会場に『久木文化祭』を開催します。金管五重奏のオープニングに始まり、銭太鼓教室などの演舞のほか、喫茶コーナー、お茶席、抽選会、販売等を計画しています。また、コミセン利用団体や地域の方、小学校、中学校、幼稚園等の作品展示も行います。皆様のご来場をお待ちしています。

※詳しくは9月20日配布のチラシをご覧ください。

▶ 作品を募集します

趣味や習い事で作った作品を文化祭に展示してみませんか。
出品される方は、久木コミセンまでご連絡ください。お待ちしております。

今後の行事

10月6日(日) ボクシング体験教室
10月9日(水) なごみ会
10月19日(土)・20日(日) 久木文化祭
11月3日(日) 久木地区カローリング大会
11月13日(水) なごみ会

11月17日(日) 秋の収穫祭
11月22日(金)～24日(日) 平和学習会～江角ヤスパネル展～
11月28日(木) 喫茶・縁

※開催日は変更になる場合があります

久木コミュニティセンター

電話 72-7474 FAX 72-7476 メール: hisagi-cc@local.city.izumo.shimane.jp

久木コミュニティセンター 検索



コミセン
だより

令和6年9月20日

ひさぎ 191号

久木の人口 令和6年8月31日現在

	男性	女性	人口	世帯数
美 南	342	373	715	248
福 富	210	222	432	155
原 鹿	357	348	705	228
今在家	272	313	585	208
合計	1,181 (+9)	1,256 (+5)	2,437 (+14)	839 (+5)

令和6年 久木納涼夏祭り 8月4日(日)

真夏の夜空に大輪の花(お礼) 久木納涼夏祭り実行委員会委員長 高田 茂明



司会

うだるような暑さが続いていた8月4日、久木健康の広場で納涼夏祭りを開催しました。宝くじの助成を受けて新調したステージでは、ダンスやよさこい踊り、民謡や吹奏楽といった多彩な催しが繰り広げられました。テントでは焼きそばや焼き鳥、かき氷などが提供され、長い行列ができるほどの人気でした。また、子どもたちを対象にしたゲームや木のおもちゃコーナーもあり、終始たくさんの皆さんでにぎわいました。そして、お楽しみ抽選会のあと、最後のイベントとして花火が打ち上げられました。まじかに見る花火の迫力に多くの歓声が上がっていました。

このように、今年も盛んに納涼夏祭りが開催できたのも、協賛金にご協力頂きました地域のみなさまのご支援のたまものであり、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



会長あいさつ



よっちょれひまわり連



viviダンス



抽選会



民謡



ひらた吹奏楽団

7/10(水) なごみ会 *ふれあいサロン

7月は、消費者問題の寸劇をされているおたすけ劇団に『訪問買取にご注意の巻！不用品を高く買い取ります。その電話、実は貴金属が目的かも!?』と題して公演いただきました。

予め電話をかけてから何う訪問販売。最初、「着なくなった着物はありますか」から始まり、言葉巧みに言われるがまま部屋に上げてしまうと、業者の思うつぼです。おだてられて「〇〇もあるし、△△もある」と見栄を張ってしまい、売るつもりのない貴金属を見せると、待ってましたとばかりに安値で買い取られてしまうそうです。こうならないため、うまい話には乗らない、知らない人を家に上げない、ということが大切だと再確認しました。



7/11(木) 久木地区人権・同和教育推進協議会 研修会

地区人権・同和教育推進協議会委員会の開催に合わせ、ビデオ講話を行いました。講師は、市人権同和政策課の同和教育啓発指導員・石倉康民さんで、ビデオ「バースデイ」を視聴しました。

この「バースデイ」は、トランスジェンダー（性自認が出生時に割り当てられた性別とは異なる人）が家族や職場でカミングアウトすることで周囲に葛藤が生じ、またアウトイング（性的指向や性自認を本人の許可なく他人に暴露すること）されたことをきっかけに、周りの人が当事者に寄り添い、支え見守っていくというストーリーでした。

性的マイノリティ（少数者）は、国内に8～10%いると言われていますが、周りから理解されず偏見の目で見られ、打ち明けることもできず一人で悩みを抱えています。当事者も含め、誰もがお互いの違いを理解し合うことと、正しい知識を身につけることが大事であると感じました。

7/20(土) 防災学習会～防災と健康～ *健康・スポーツ部



今年1月に発生した「能登半島地震」を受け、いざという時の備えを学習しようと「防災学習会」を7月20日に開催、47人が参加しました。

日本赤十字社島根県支部の山根恭子さんを講師に迎え、能登の避難所の様子や感染対策などの講話を聴き、簡易テントや災害用トイレの設置にあたっては安全確保を第一に適切な場所を選定することの重要性を知りました。また、ホットタオルや新聞紙スリッパを作る体験をしました。

中学生から高齢の方まで参加したこの防災学習会を通して、地域の多世代が一体となり、互いに助け合うことの大切さを実感しました。

7/24(水) ゴビウスとサン・レイクで夏の思い出を作ろう *久木地区社会福祉協議会 *久木地区青少年育成協議会

夏休みに川や宍道湖の生き物のことを学ぼうと7月24日、38人の小学生が参加しました。まず、ゴビウスとグリーンパークへ行き、水槽の中の魚を見学したり宍道湖にいる鳥を双眼鏡で観察したりして水辺の生き物について学習しました。

次に、サン・レイクへ行き、昼食を食べた後、七宝焼きを体験しました。磨いた銅板に粉の絵の具を乗せ、高温の窯で焼くと出来上がります。各自がオリジナルのキーホルダーに仕上げ、夏の楽しい思い出ができました。



7/29(月) ふりこめサギとんでゆけ～！凧づくり *久木地区青少年育成協議会

振り込めサギなどの特殊サギ防止メッセージ入りの凧づくりをしようと7月29日、17人の小学生が参加しました。



まず、斐川交番の梅風花巡査から、テキストを見ながら犯罪被害にあわないためにどうすればいいかという話があり、身近にいる高齢者への声掛けが大切だということがわかりました。

次に、荒木慎吾さんを講師に、凧づくりをしました。「特殊サギ防止」や、県警察シンボルマスコットみこぴーくんなどを和紙に書き、竹ひごと新聞紙をつけて凧に仕上げました。凧が出来上がるとさっそく外に出て、地域安全推進委員に手伝ってもらいながら空にあげました。

最後に、みんなでおにぎり味噌汁を食べて交流しました。

7/30(火) 草取り交流会 *久木納涼夏祭り実行委員会

夏祭りの会場をきれいにしようと7月30日、健康の広場に30人が集まりました。早朝5時半から約1時間、健康の広場とふれあいプラザ周辺の清掃活動をし、軽トラック1台分の草やごみが集まりました。作業の後には、おにぎり味噌汁を食べながら交流をし、気持ちよく夏祭りを迎える準備ができました。



夏休みコミセンカレッジ *子育て・青少年部

夏休みの宿題をみんなできようと8月6日～8日、20日～22日の6日間、コミセンカレッジを開催したところ、延べ90人の小学生が参加しました。ボランティアの中学生に教えてもらいながら宿題をした後、日替わりの体験活動をしました。



8/6(火) ラダーゲッター

久野晴見さん（春日）（出雲市スポーツ推進委員協議会 斐川支部）を講師に、ラダーゲッターをしました。ラダーゲッターは、ひもでつながっている2個のボールをはしご（ラダー）に引っ掛けて点数を競うゲームです。2チームに分かれてボールを投げ、合計21点になるように計算しながら、4ゲーム楽しみました。



8/8(木) パソコン工場へ行こう！

バスに乗って島根富士通（直江）へ行き、工場内を見学しました。会社についての説明を聞いた後、衛生キャップをかぶってパソコン製造工場に入り、ノートパソコンの組み立てにたくさんのロボットが働く様子を見学しました。ここでは年間300万台のパソコンが製造されているそうです。



8/21(水) 和菓子作り

扇屋菓子舗（今市町）の横木雅己さん（島根県ものづくりマイスター）から和菓子作りを教えてもらいました。黄色と緑色のあんこで「月見草」、紫色と白色のあんこで「ききょう」の2種類の「練り切り」を作った後、白あんを小豆で包んで「小倉」を作りました。きれいに作るのには難しく、和菓子職人の技術がいかに高いかがわかりました。



8/7(水) 草木染め

「久木」の別名を持つアカメガシワの葉を使い、草木染めをしました。どんな模様になるのか想像しながら白いバンダナにビー玉やペットボトルのふたを輪ゴムでくくりつけ、アカメガシワの染色液とミョウバンの媒染液に浸して黄色く染めました。それぞれに違った味わいのあるバンダナに仕上がりました。



8/20(火) カメラの仕組みを知ろう

松江工業高等専門学校の外谷昭洋准教授に来ていただき、カメラの仕組みについて学びました。色々な大きさのレンズを使って蛍光灯が紙にどのように写るかを確認した後、厚紙を組み立ててレンズを貼り付ける作業をしました。これをのぞいてみると、カメラの中では上下左右が逆に投影されることがわかりました。



8/22(木) 消防団に体験入団！

出雲市消防団久木分団に協力してもらい、消火活動を体験しました。重たいホースを勢いよく伸ばして3本をつなぎ、ポンプで川の水を吸い上げる班と、筒先を構えて放水する班に分かれて、田んぼの中に設定した火元の消火をしました。地域の安全を守ることの大切さと大変さがよくわかりました。

